

平成23年度 長野県図書館協会

小中学校図書館部会だより

《 第131号 》

平成23年度小中学校図書館部会の活動を振り返って



長野県図書館協会小中学校図書館部会

副部会長 後町小学校 木内 昇

本年度の長野県図書館協会小中学校部会は、『豊かな学びの中核となる学校図書館～司書教諭と学校司書との緊密な連携を図って～』のテーマのもと、4つの重点目標を運営方針として活動を行ってきました。

重点目標の一つ『県図書館協会と連携を図る中での図書館大会の推進』では、図書館大会の開催都市である上小支部と綿密な連携をとりながら準備を進めてきました。

具体的には、午後の研究協議について『司書教諭の仕事』『司書教諭と学校司書』『学校司書の仕事～学習を支援する学校図書館に～』『読書指導の実践』『利用指導の実践』『学校図書館の運営』の6つの分科会の準備と運営にあたってきました。それぞれの分科会では、レポートの作成と発表、司会、記録等を各支部で分担して進めてきました。また、ワークショップを取り入れた分科会では、学校司書委員会と司書教諭委員会の先生方が事前に何度も打ち合わせをしたり準備をしたりして当日を迎えました。

そうしたこともあり、各分科会の参加者の声も『少人数で話せるような工夫がされており、互いに話しやすかった』『課題を共有することで各校の具体的な工夫を聞くことができた』など概ね好評だったようです。しかし、『小グループの討議で、司書だけ、あるいは司書教諭だけのグループになってしまい、意見に偏りできてしまうように感じた』『内容的に似通った分科会があった』など、今後改善を要する点も指摘されました。

なお、午前の富安陽子さんの講演も大変好評でした。学校に戻って子どもたちに富安さんの本のおもしろさを積極的に伝え、学校での読書指導に生かしている事例も聞いています。大会での学びがそのまま学校図書館指導の充実に生かされている点でありがたい事と思います。

各地区学校図書館教育研究会は、北信地区が須高、中信地区が木曾、南信地区が諏訪の各支部の計画により実施されました。各地域の特性を生かした授業公開や講演会、研究協議があり大変充実した会となったようです。

この他の活動として、読書感想文及び読書感想画コンクールの作品募集を行いました。応募校数については昨年度並みであったのですが、作品数については昨年度に比較し減少しました。各支部で厳選した上での応募であったとも推察できますが、長野県課題図書購読数の微減と共に気になるところです。そんな中、昨年度の中央入選に続き、本年度も本県より毎日新聞社賞の受賞作品が出たことは大変喜ばしいことでありました。

最後になりましたが、本年度長野県図書館協会小中学校部会の諸活動にご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げますと共に、来年度飯山市で行われる第62回長野県図書館大会へのご支援ご協力お願い申し上げます、活動報告とさせていただきます。

本大会は今までの反省から、運営する側も参加する側ももっと気軽に参加して話し合うことができ、実のある大会にすることを願い、閉会式を行わずに分科会の時間を長くしたこと、大会要項(当日配布)の簡素化をしたこと、大会宣言を廃止し、「問題提起」としたこと・・・等々、幾つかの改善を行いました。これらの改善については多くの参加者から支持をいただきました。今後も、改善の方向は進めていきたいと思っております。

終わりにりましたが、運営面・施設設備面等に多大なご支援をいただきました上田市・上田市教育委員会様、大会実行委員会はじめ、関係諸団体の皆様、並びに県下各地からお集まりいただき大会を盛り上げていただいた参加者の皆様に心より感謝申し上げます、報告とさせていただきます。



一年間の活動を振り返って

中高支部代表 高丘小学校 川久保あけみ

中野・下高井支部は、小学校17校、中学校7校、計24校及び2公立図書館で構成されています。平成23年度は次のような事業を行いながら、各校の図書館運営の充実につなげていくとともに、研修をとおして互いに高め合いました。

1 実施した内容・事業

- (1) 平成23年度 小中学校図書館主任・学校図書館司書名簿作成
- (2) 中野・下高井小中学校図書館主任の会 (参加者: 26名)
 - 日時 5月17日(金) 16:00~17:00 (中・高教育会館)
 - 内容 組織作り(主任の会・小委員会)、活動計画、情報交換
学校図書館の現状や問題点について意見交換
- (3) 中野・下高井図書館協会定期総会及び講演会の開催 (参加者: 38名)
 - 【定期総会】○日時 6月28日(火) 15:30~17:00 (中野市立図書館)
 - 内容 役員承認、事業報告・決算承認、事業計画・予算承認、他
 - 【講演会】○講師 堀内京子先生
 - 演題 「子どもと本をつなぐ」~みつけよう 感じよう 絵本の世界から~
◇伝えたい大切なこと ◇新指導要領とのかかわりから
- (4) 第33回長野県読書感想文コンクール作品募集と支部審査 (中・高教育会館)
 - 日時 9月10日(金) 15:30~
 - 応募総数 148点 (小学校72点、中学校128点)、県送付代表作品数46点
- (5) 長野県読書感想文コンクールへの応募
- (6) 第61回長野県図書館大会参加
第7分科会「学校司書の仕事」のレポート発表 (南宮中学校 山岸智子先生)
- (7) 北信地区学校図書館教育研究会参加

2 一年間を振り返って

- (1) 中野市立図書館・蟻川図書館と連携し、中野市立図書館を会場に「講演会」を開催しました。講師は委員の先生方の願いを受け、昨年度に引き続き堀内京子先生にご依頼しました。総会と合わせた講演会には、各校より図書館主任の先生方及び図書館事務の先生方に参加いただき大変好評でした。講師の先生方には、新指導要領スタートの年に合わせ、読書との関連についてお話をいただきました。また、たくさんの絵本をご持参いただき、講演会終了後も絵本の選定や子どもたちに読み聞かせたい本などについて、ご持参いただいた本を参考にしながら互いに語り合うことができました。
- (2) 学校図書館司書・事務の先生方に積極的に県や市の会合、研修会に参加していただきありがたかったです。さらに年8回の研修や情報交換会を実施し、夏季研修では図書館システム(電算化)の導入について研修会を開いた他、図書館めぐり、学年別お薦め本の選書、新鮮で使いやすい図書館の工夫など、よりよい図書館運営を目指して計画的に研修を積み重ねてきております。
今後いっそう県との連携のもと、研修の情報提供なども大事に意図づけながら、支部の活動を充実させて参りたいと思います。



長野支部の主な活動

長野支部代表 浅川小学校 関間 昇

長野支部は小学校56校、中学校25校、附属小・中学校2校、公共図書館2館、私立図書館1館で構成されています。本年度の諸活動の中から主なものを紹介させていただきます。

- 1 理事会 6月16日(木)
役員及び組織の構成、総会の持ち方について <長野市篠ノ井 更級教育館>
- 2 総会 6月16日(木) 事業・決算報告と承認、監査報告、
事業計画及び予算案検討及び承認<更級教育館>
- 3 講演会 6月16日(木) 講演会
講師: 羽生田 敏先生(信州児童文学学会会長)
「童話の世界に学ぶ」参加者61名 <更級教育館>
- 4 北信地区学校図書館教育研究会 8月28日(月)
須坂市立二礼小学校・東中学校 11名参加
- 5 長野県読書感想文コンクール長野地区審査委員会 9月27日(火)
長野市立浅川小学校 (審査委員+担当役員)
- 6 長野県図書館大会へ参加 10月22日(土) 上田市真田中央公民館他 35名参加



羽生田先生講演会より

図書館職員等ステップアップ研修 参加報告

加茂小学校 深澤純子

今回の講座の前半では「学校司書の仕事」について、長野市立篠ノ井西小の由井先生が、改訂版「学校図書館実務マニュアル」から、実務の流れに沿って講義してくださいました。普段の業務について、ひとつひとつ意義づけをして話してください、学校図書館の理念と役割について改めて考えることができました。

後半は松本市立芳川小の碓井先生の、本の分類やレファレンスについてワークショップ形式の講義でした。日常の業務の中で判断に悩む分類やレファレンスについて明解に講義してください、実務に役立つアドバイスがたくさんありました。

司書というのは、求められる知識や実務が多岐にわたり、常に研鑽の必要な専門職でありながら、研修の機会が少ないように感じておりました。私自身のスキルアップとともに、モチベーションを高める意味でも、参加して良かったと強く感じました。

明北小学校 藤澤宏江

今回の「ブックトーク」の研修では、とても楽しい実演をしていただきました。特にブックトークの導入として見せていただいた、パネル寄席による日本昔話の小話は、ユーモアたっぷりで、これから始まるブックトークの魅力的な入口として、ぜひ活用したいと思うものでした。

ブックトークは読み聞かせと違い、聞くことよりも本の面白さを伝え、積極的に読んでみたいという気持ちを持たせることが大切だということです。それには「楽しい」を合言葉に本のコマercialを考えること。また、子どもたちとのコミュニケーションが成功の鍵になる、ということをお教いただきました。

子どもと本の出会いのために、楽しく心に響く本のコマercialをしていきたいと、改めて感じました。



読書感想文コンクール及び読書感想文コンクールの審査結果から

平成23年度長野県読書感想文コンクールについて報告します。

各学校から応募された作品について各支部審査・県審査を行い、次のような結果になりました。

◇応募校数：332校	◇応募作品数：4280点
◇県入選（県応募）作品数：764点	◇県入賞作品数：231点
◇中央審査会応募作品数：10点	*全て小・中学校の合計

本年度は、中央審査会において、須坂市立墨坂中学校3年 駒津友美さんが、自由図書「きみの友だち（作 重松 清・発行社 新潮社）」で毎日新聞社賞（優秀作品）を受賞しました。昨年に引き続いての全国コンクールでの受賞は、たいへん素晴らしいことです。これからも、質の高い作品が生まれてくることを期待します。

続いて、第23回読書感想文コンクールについて報告します。

各学校から応募された作品について県審査を行い、次のような結果になりました。

◇応募校数：15校	◇応募作品数：135点	◇県入選作品数：28点
◇中央コンクール応募作品数：8点	*全て小・中学校の合計	

読書感想文の取り組みは、感想文以上に難しいところがあります。小学校では学級単位で、中学校では部活動などと、時間を生み出し応募していただけるとありがたいです。

両コンクールに応募していただいた児童生徒の皆さん、応募に際してご尽力いただいた皆様に感謝いたします。来年度も積極的な取り組みをお願いします。



長野県図書館協会 小中学校図書館部会だより 第131号

〈発行日〉平成24年 3月 8日

〈発行者〉長野市若里1-1-4 県立図書館内

長野県図書館協会 小中学校図書館部会（代表 綿内良子）